平成２６年度第２回千葉市青少年センター運営審議会議事録

１　日　時
平成２７年３月１２日（木）午前１０時から１１時３０分

２　場　所
千葉市南部青少年センター２階会議室

３　出席者
（委　員）
佐々木委員　齊藤委員　石川委員　多田委員　川島委員　服部委員

（事務局）
廣森生涯学習振興課統括管理主事　木澤所長　加藤所長補佐　川崎主査補

４　議　題
(1) 平成２６年度事業報告について
(2) 平成２７年度施設運営方針（案）について
(3) 平成２７年度事業計画（案）について
(4) その他

５　議事の概要
(1) 平成２６年度事業報告について
事務局から主催事業の実施結果・施設の階層別利用状況、利用登録の状況・施設の部屋別稼働率・併設するみやこ図書館白旗分館利用者数について説明し、質疑応答が行われた。
(2) 平成２７年度事業計画について
事務局から施設運営方針を述べた後に、在学青少年対象事業、青少年・一般対象事業の計画を説明し、質疑応答が行われた。
(3) その他
事務局から、次回審議会の開催予定について説明した。

６　会議経過
○事務局
開　会
○佐々木会長
議題(1)の平成２６年度事業報告について事務局から報告をお願いします。
○木澤所長
議題(1)平成２６年度事業報告について、主催事業の実施結果・施設の階層別利用状況、利用登録の状況・施設の部屋別稼働率・併設するみやこ図書館白旗分館利用者数に

ついて報告しました。
○佐々木会長
事務局から報告のあった内容についてご意見ご質問はありますか。
○服部委員
先ほど、１階のラウンジの利用者は小学生が多く利用しているとのお話でしたが、センターのような居場所があることは、良いことだと思います。それが施設を利用することにつながると思います。また、ときめきサタディの「ハロウィンのお菓子づくり」の参加者が少なかった原因は、分かりますか。
○川島委員
開催時期が、１０月末なので学校のバザーとか学校行事と重なった関係もあると思います。
○木澤所長
講座内容がカボチャを使った濃厚プリンづくりだったことと、学校行事が重なったことだと思います。クリスマスのフラワーアレンジメントもそうですが、土曜日は地域も含め行事が重なることが多いので難しいと思います。
○佐々木会長
ときめきサタディの参加対象が小・中学生とあるので、学年別にどの講座に参加したのか分かりますか。
○木澤所長
ときめきサタディの学年別は、講座によって対象があるので、一概には言えないのですが、小学生が多くて中学生は少ないです。特に小学４年生の参加が多くありました。
ラウンジには６年生が多くいますので、講座への声を掛けるのですが参加には結びついていません。
○佐々木会長
小学３年・４年は、学年として出かけるのが好きな学年と言いますね。また、わくわくカレッジについても、青少年・一般対象ですので年代別でどういう層が参加しているのか分かりますか。
○木澤所長
青少年・一般対象は１６歳以上が対象の事業ですが、６０代の参加が一番多いです。時間を有効に使える年代だと思います。
○佐々木会長
他の施設でも、センターと同じく６０代の人が多いですね。
他にもありますか。
○石川委員
インターンシップ生の講座「美文字「硬筆」で色紙飾りづくり」は人数が少なかったとのことですが、文字についての講座は他の施設でも、絵手紙などをやっているのは、やはり６０代以上の方が多かったですね。文字で素敵な作品ができるのは素晴らしいことなので、今からやっていたらとても良いと思いますので進めていきたいですね。
○服部委員
ゆめチャレンジを観覧したのですが、子どもが多くて素晴らしいと思いました。ただ、

地域の子どもが多かったかなと感じました。この地域の子どもは南部青少年センターがあるのでいいなと思いました。たとえば、ゆめチャレンジに一緒に美文字とかの講座を行ったらどうでしょうか。

○加藤所長補佐

ゆめチャレンジ当日は、２階、３階の部屋は出演団体の控室になっていますので、部屋は使えないです。

○服部委員

そうでしたね。１階のコーナーとかで、できたら良いと思います。

○加藤所長補佐

検討してみたいと思います。

○佐々木会長

ゆめチャレンジで、大学生が支援ボランティアに参加して、どんな感想、または反応があったのか分かりますか。

○木澤所長

淑徳大学のひとつのゼミが全面的に協力してくれました。当日は、上級生のお手伝いもありましたので、いい流れになったと思います。

今年度大学生にアンケートを取りその結果ですが、ボランティアに参加してしての意義については、大いに有意義が５７％、有意義が３９％で、ほとんどの大学生が意義を感じていました。今回準備の会議を大学の方でも行ったので、出席率が高かったことが、意識の向上につながったと思います。

次に負担感については、全く感じなかったが３０％、あまり感じなかったが６１％でした。ゆめチャレンジのテーマ「笑顔がつなぐ夢へのかけ橋」を自分達で決めたこともあったので、達成感は高いものがありました。

そして、「自分として何か成長できたこと」については、参加者とのふれあい、行動力を挙げた学生が多かったです。これは、教員を目指している学生たちなので小学生とふれあったことが一番良かったと思います。学生たちも進んで動くことやチームワークで行動するなど、貴重な体験ができたとの感想でした。

○佐々木会長

昨年も対応が良くて気分よく入れたのですが、今年はさらにお客さんの顔を見て笑顔で対応してくれて気持ちよく会場に入ることができました。色々準備した成果だと思います。

○木澤所長

ゲスト、キャストに笑顔になって帰ってもらおうという目標を設定し、実践した結果だと思います。

○服部委員

私もすごく良かったと思いました。大学生を育てていただきありがとうございます。

また、照明・音響講習会も実施していただいたことも良かったと思います。ぜひ続けてほしいです。

○佐々木会長

維持管理の関係で、２６年度実施した成果で、もう少し予算があれば、２６年度でき

たものは何があったでしょうか。また、業務の中で夜間受付は何時頃までやっているのか。時間が足りているのかどうか。各種検査結果は異常がなかったことは良かったと思いますが、何か追加したい検査などはあったかどうか感想がありましたらお願いします。

○川崎主査補

夜間受付ですが、市民の方への部屋の貸出を行っています。夜間は１７時から２１時まで委託しています。修繕については、女子トイレの中に赤ちゃんのおむつを取り替えられる多目的トイレを設置したいと要望していますが、予算状況厳しいので先送りとなっています。また、各種色々ありますが、舞台幕も修繕が必要です。これも予算に苦慮しているところです。

○佐々木会長

予算化できたらやってほしいですね。あるところに行ったら、車の所でおむつを替えている方を見ました。

このセンターの現状を委員として承知してほしいと思います。

では、事務局から説明のあった平成２６年度事業報告について、ご承認いただける方は、挙手をお願いします。

―全員一致で承認されました。―

○佐々木会長

それでは次に、議題(2)平成２７年度事業計画を事務局で説明をお願いします。

○木澤所長

資料に基づき、平成２７年度施設運営方針を述べた後に、事業計画について、現状を踏まえながら説明をしました。

○佐々木会長

事務局から説明のあった平成２７年度事業計画等について、ご質問等がありましたらお願いします。

○多田委員

２７年度計画事業のときめきサタディの参加募集対象年齢は、２６年度に準じるのですか。

○木澤所長

ほぼ準じる予定です。それについての事業案内を作成中です。

○多田委員

先ほどハロウィンのお菓子づくりが少なかったとのことですが、小・中学生が対象となっていますが、たとえば乳幼児を持つお母さんを対象に考えられないか、学校行事と重なり参加人数が少なかったとのことなので、対象年齢を変えてみるのはどうでしょうか。

○木澤所長

ときめきサタディで親子でつくろうという講座がありますが、基本的に小・中学生が対象ですので、わくわくカレッジの一般対象になってしまいます。保育は大きな課題だと思っています。

○佐々木会長

小学生などは、クッキーとか作ったりするのが好きですね。保育所と一緒につくると

か対象の決め方も工夫してみるのもいいですね。

○服部委員

火を使うのが危ないとすれば、小学３年生からではどうですか。

○加藤所長補佐

ときめきサタディの講座で、小学１年生、２年生について危ないという部分があるので、ケガをしないように保護者同伴でお願いしております。

○木澤所長

講師の方の考えもありまして、小学４年生からとなることがあります。

○石川委員

放課後子どもルームでは、小学１年生から３年生までの子どもたちがいます。お料理について教えていますが、子どもたちは喜んでやっています。

○佐々木会長

講師の方につく補助の方とかの予算のこともあると思いますが、検討してほしいです。今こういうことを子どもを育てていくことが少年犯罪とかにつながらないと思います。犯罪を犯し刑務所に入ってしまうことと、しっかり生きて税金を払うことでは、どちらが良いか。そのような事業に予算を付けることは、予算として安いことだと思います。検討材料にしてもいいですね。

○多田委員

共働きで子どもたちで留守番をしている家庭が多いですし、朝ご飯を作ってもらえない子どももいます。

火を使う、使わないは別として、子どもが簡単に作れる料理の教室があってもいいと思います。

○佐々木会長

そういう課題がでたので、検討していただきたいと思います。

○多田委員

低学年の子どもを集めて何かできるもの、難しいのであればそういう機会があってもいいのではないでしょうか。

○木澤所長

対象年齢で、１年生から参加できるのが、資料１０ページの１番、３番、４番、６番、９番となっており、親子では小学１年生からの参加になります。

○佐々木会長

自分の近所の子どもを集めて行うのは、親に話してあるのでケガも将来の財産であると話すことができるが、センターの場合では、ケガとかしてしまうと大変だと思います。

○多田委員

皮むき器でもケガをしますね。

○石川委員

放課後子ども教室でも、アレルギーの子どもがいてアナフィラキシーもあるので気をつけてあげないといけないんですが、それでも料理をやりたい子どももいますね。

○加藤所長補佐

先ほど、色々なご意見がでたのですが、小学１年・２年生は火を使わない危なくない

ような料理を考えられるのではないかと思いました。

次年度は無理ですが、２８年度、講師の方と相談しながら検討のひとつになると思います。

○石川委員

電子レンジやトースターとかを使った料理もありますね。

○佐々木会長

食べ物を扱うと保健所は来るのですか。学校でバザーを行うときは届けます。

○加藤所長補佐

来ないですね。お料理の講座は、自分で作ったものを自分で食べて終わります。お店とか調理している方が作りお客様に食べてもらうのとは違います。

○佐々木会長

他にありますか。

それでは、事務局から説明のあった平成２７年度事業計画について、ご承認いただける方は挙手をお願いします。

―全員一致で承認されました。―

○佐々木会長

それでは次に、議題(3)その他について、何かございますか。

事務局は、ありますか。

○事務局

ありません。

○佐々木会長

以上ですべての議題審議を終了しました。ご協力ありがとうございました。

事務局から連絡事項はありますか。

○加藤所長補佐

各委員の皆様から頂きました貴重なご意見を、今後の事業運営に活かしてまいりたいと存じますので、今後ともよろしくお願いいたします。

年度が変わりますので、各団体の役員変更で委員を交代される方はご連絡をお願いいたします。なお、次回の運営審議会は、６月末頃の開催を予定しております。

本日は、ありがとうございました。

― 閉　会―

問い合わせ先：千葉市教育委員会生涯学習部
南部青少年センター
ＴＥＬ　０４３－２６４－８９９５
ＦＡＸ　０４３－２６８－１０３２
Email-nambuseishonen.EDL@city.chiba.lg.jp